

各種検査利用規約及び個人情報の取り扱い規定

遺伝子検査の結果と検出精度について

遺伝子検査は非常に精度の高い検査方法ですが、その性質上 100%の検査結果を保証するものではありません。理論上の検査精度は、「簡易 71%以上」「一般 92%以上」「高精度 94%以上」です。(既知の遺伝子を用いて当研究所内で実施した実験結果より)

偽陽性 検査結果が陽性の場合には以下のような理由により誤って陽性と判定される場合があります ・他の陽性個体との接触により検体サンプルにウイルス等が付着していた場合 ペットショップお迎え直後やドッグランなど他の動物と接触直後に検査を行った場合に多く 発生します ・検体の取り違いや検査依頼書の記入間違い(複数羽の同時検査の場合)

偽陰性 検査結果が陰性の場合には以下のような理由により誤って陰性と判定される場合があります ・採取したサンプルにウイルスが存在しない、または検出限界以下のわずかな量のウイルスしか 採取できなかった場合 ・既知のウイルスとは異なる遺伝配列をもった新種、亜種の場合 ・採取したサンプルが古い、熱や光で劣化している場合 ・サンプルに土壌などの PCR 阻害物質が多く含まれている場合や、本検査に無関係の遺伝子(ヒト唾液や汗)が含まれている場合

顕微鏡検査の結果について

顕微鏡検査は検査官による目視と AI による画像検査にて実施します

検査項目に応じて各種染色を実施します

免責

当店研究所で実施する各種検査は、病気の診断や健康状態、発症のリスクを判定するものではなく、提供されたサンプル中に原因菌及びウイルスの遺伝子が含まれるかどうかをお知らせするサービス、提出されたサンプル中の顕微鏡観察によるデータ提供サービスです。本サービスの提供により、病気の有無や健康状態についての診断、発症リスクの判定を保証するものではありません。生物由来のサンプルを用いて検査する性質上、検査結果の誤り等について、当研究所は一切の責任を負わないものとします。当研究所は、当研究所の故意または過失によってユーザーに生じた損害については、当研究所がユーザーに対して損害賠償の責めを負う場合であっても、その損害の範囲は、直接かつ現実に発生した通常損害に限られるものとし、逸失利益等の間接損害又は特別損害は含まれません。かつ損害賠償は、検査の無償によるサービスの再提供又は当研究所が委託者から取得した当該検査の実施による委託料金の検査受託料金の返却のいずれかを限度として、当研究所の裁量により選択できるものとします。当研究所は、該当法令、行政庁による該当ガイドラインを順守している限り、遺伝子検査及び顕微鏡検査の検査結果に対する全ての成果物に対する損害賠償責任等の一切の責任を負わないものとします。

個人情報の利用

本サービスの利用によって取得した個人情報は検査結果の通知及び連絡に使用するものとする。検査結果等のデータは個人を特定できる情報を削除した上で論文などに掲載することがあります。